	〕⊥美局₹	等專門学校	開講年度	令和05年度(2	2023年度)	授業科	1日 1第	気応用		
科目基础			. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, 1 / · (-	- , - ,					
科目番号	ACIDTK	0100			科目区分	車門	/ 必修道			
授業形態							学修単位: 2			
開設学科			学科(雷気・雷子コ	 科(電気・電子コース)		立の種別と単位数 学修単位: 2 R学年 5		<u> </u>		
開設期		後期		4 (电気・电丁コー人)		2				
			ningコンテンツ PE	 Igコンテンツ、PPT、確認テスト		数 2				
担当教員	X 173	タン	IIIIg I Z J Z Z X FF							
	ш	190								
到達目標										
2.熱量の	発生・温度	の諸量、光見上昇・熱伝導	R、照度計算、各種 算、各電熱装置の原 -	光源の発光原理と特理・構造・特徴につ	徴について説明で いて説明できる。	ごきる。 				
ルーブリック			TITHE 45 + > 701 + 1		1#2# 45 + 2 701 ± 1					
			理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安			未到達レベルの目安		
評価項目1				放射と光に関する各種法則につい て理解し計算も含めて説明できる 。		左記について定性的に説明でき、 電験3種レベルの問題が解答できる。		左記ができない。		
評価項目2				る各種法則につい 合めて説明できる	左記について定性的に説明できる を記			左記ができ	ない。	
評価項目:	3									
		 項目との関	 §係		•					
			<u> </u>	 ろ.						
		ノ O THI/ O IX	1 WOLD (17 C 2 (C 2/) /	0 0						
教育方法	万 守	声与一	7 II + 2" ~ 1+ /lik - -		ロのナ悪ハ四マーナ	7 077 nn 144	而** `	±7#±	₩ ~` ±L+!	·/
概要電気エネル・法則・明る			シルキーの特徴につい 利るさの諸量の定差	いて理解し、電気応 、基本法則、光束、	用の王要分野であ 昭度計算 各種平	る照明工字、 源の特性かり	電烈工学の基礎学	子の基礎を' 日識につい	子ふ。放射 て学ぶ	に関する諸
授業の進	め方・方法	しい理解の	D度合いを確認する。	にまとめて配布する ようにする。 試験30%、期末試験						
注意点		電気主任	E技術者認定科目の	〇科目である。						
事前・⋾	事後学習.	オフィス	スアワー							
				 して、演習・課題・	ナンニノンニフト					
オフィス	アワー:授	学宝施日の1	7 D			、を主施しまで	d.			
		\star	.6:00~17:00		オフラインテスト	を実施します	9 。			
						を実施します	9 。			
授業の原	属性・履何	多上の区分	}				9.	□ 実務経	験のある教	員による授:
授業の原		多上の区分			コンフィンテスト		9 .	□ 実務経験	険のある教	員による授
授業の原 □ アクラ	属性・履作 ティブラーニ	多上の区分	}					□ 実務経験	険のある教	員による授
授業の原 □ アクラ	属性・履作 ティブラーニ	<u>惨上の区分</u> ニング) □ ICT 利用			ΰ		□ 実務経	険のある教	員による授
授業の原 □ アクラ	属性・履作 ティブラーニ	多上の区分	→ ICT 利用 授業内容		□ 遠隔授業対応			□実務経験	険のある教	員による授
授業の原 □ アクラ	属性・履作 ティブラーニ	<u>惨上の区分</u> ニング	} □ ICT 利用 □ JCT 利用	概要、シラバスの説	□ 遠隔授業対応	ΰ	達目標			員による授
授業の原 □ アクラ	属性・履作 ティブラーニ	修上の区分 ニング 週 1週	} □ ICT 利用 授業内容		□ 遠隔授業対応	過ごとの到達講義概要と記	達目標講義の進	め方を理解	rできる。	
授業の原	属性・履作 ティブラーニ	<u>多上の区分</u> ニング 週	} □ ICT 利用 □ JCT 利用		□ 遠隔授業対応	週ごとの到達	達目標 講義の進 関する諸	め方を理解法則につい	rできる。	
授業の原 □ アクラ	属性・履作 ティブラーニ	修上の区分 ニング 週 1週 2週	→ ICT 利用 授業内容 ガイダンス (講義 方について) 1.放射と光	概要、シラバスの説	□ 遠隔授業対応	週ごとの到) 講義概要と記 黒体放射に の意味を理 明るさを表	達目標 講義の進 関する諸明 する 諸明 す 基礎量	め方を理解 法則につい できる。 と基本法則	できる。 た、それそ	ごれの示すご
授業の原 □ アクラ	属性・履作 ティブラーニ	修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	→ ICT 利用 授業内容 ガイダンス (講義 方について) 1.放射と光 2.明るさの単位と	概要、シラバスの説	□ 遠隔授業対応	過ごとの到 講義概要と 黒体放射に の意味を理 明るさを表 、照度計算	達目標 講義の進 関する諸明 する 諸明 す 基礎量	め方を理解 法則につい できる。 と基本法則	できる。 た、それそ	ごれの示すご
授業の原 □ アクラ	属性・履作 ティブラーニ	修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週	→ ICT 利用 授業内容 ガイダンス (講義 方について) 1.放射と光 2.明るさの単位と 同 上	概要、シラバスの説 基本法則	□ 遠隔授業対応	が 週ごとの到 講義概要と 黒体放射に の意味を理 明るさを表 、照度計算 同 上	達目標 講義の進 関する説明 量ができる	め方を理解 法則につい できる。 と基本法則 る。	できる。 て、それそ の物理的意	ごれの示すヹ
授業の原 □ アクラ	属性・履作 ティブラー <u>:</u> 画	修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	→ ICT 利用 授業内容 ガイダンス (講義 方について) 1.放射と光 2.明るさの単位と	概要、シラバスの説 基本法則	□ 遠隔授業対応	週ごとの到う 講義概要と記 黒体放射に「の意味を要求 明るさきま算が同 上 光源の配光が	達目標 講義の進 関解し説 がす基礎 ができる から全光	め方を理解 法則につい できる。 と基本法則 る。 束を計算で	できる。 って、それそ の物理的意	ごれの示すご
授業の原 □ アクラ	属性・履作 ティブラー <u>:</u> 画	修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週	計 □ ICT 利用 授業内容 ガイダンス (講義 方について) 1.放射と光 2.明るさの単位と 同 上 3.配光と光束計算	概要、シラバスの説 基本法則	□ 遠隔授業対応	週ごとの到) 講義概要と記 黒体放射に の意味を理(明るさを表、照度計算) 同 上 光源の配光/ 大きさのある	達目標 関解すが する説 関解する 諸明量る から 光源に	め方を理解 法則につい できる。 と基本法則 る。 束を計算で よる直射照	できる。 って、それそ の物理的意	ごれの示すご
授業の原 □ アクラ 授業計画	属性・履作 ティブラー <u>:</u> 画	多上の区分ニング週1週2週3週4週5週	計 □ ICT 利用 授業内容 ガイダンス (講義 方について) 1.放射と光 2.明るさの単位と 同 上 3.配光と光束計算	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度	□ 遠隔授業対応	週ごとの到う 講義概要と記 黒体放射に「の意味を要求 明るさきま算が同 上 光源の配光が	達目標 数 ま明 要が かるが ながでら 光でさ	め方を理解 法則についできる。 と基本法則 る。 束を計算で よる直射照	できる。 って、それぞ 一の物理的意	ごれの示す記 質味を理解し 3法則によっ
授業の原 □ アクラ 授業計画	属性・履作 ティブラー <u>:</u> 画	多上の区分ニング週1週2週3週4週5週6週7週	計 □ ICT 利用 授業内容 ガイダンス (講義 方について) 1.放射と光 2.明るさの単位と 同 上 3.配光と光束計算 4.大きさのある光 5.各種光源とその	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度	□ 遠隔授業対応	週ごとの到う 講義 飲味 を計 のるでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	達目標の進端するが発光でいるが発光できます。 ひんしょう おいき かいこう おいこう おいこう でんしょう はいい こう はい こ	め方を理解 法則についできる。 と基本法則 る。 束を計算で よる直射照 、構造、特	できる。 って、それぞ 一の物理的意	ごれの示す記 質味を理解し 3法則によっ
授業の原 □ アクラ 授業計画	属性・履作 ティブラー <u>:</u> 画	多上の区分ニング週1週2週3週4週5週6週7週8週	計 □ ICT 利用 授業内容 ガイダンス (講義 方について) 1.放射と光 2.明るさの単位と 同 上 3.配光と光束計算 4.大きさのある光 5.各種光源とその 小テストと解説	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度	□ 遠隔授業対応	適ごとの到記 講義、概要と記 黒体放射でである。 黒体放射でである。 一般である。 一般である。 一般では、 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。	達 講 関解すが かるが発 を理 が かるが発 を理 すいまる 単 で の	め方を理解 法則につい できる。 と基本法則 る。 束を計算で よる直射 い 、構造、特 る。	できる。 って、それで 一の物理的意 できる。 。 なな、 のななななななななななななななななななななななななななななななな	ごれの示す記 質味を理解し 3法則によっ
授業の原 □ アクラ 授業計画	属性・履作 ティブラー <u>:</u> 画	多上の区分ニング週1週2週3週4週5週6週7週8週9週	計 □ ICT 利用 授業内容 ガイダンス (講義 方について) 1.放射と光 2.明るさの単位と 同 上 3.配光と光束計算 4.大きさのある光 5.各種光源とその 小テストと解説 中間試験	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度	□ 遠隔授業対応	過ごとの到 講義概要と記 果体放射に の意味を理 明る度計算 同 上 光源ののおう て照度計算 各種光源の 各種光源の 。 未理解部分 試験後解説。	達目標 進講 関解すが かるが発 を。 はまず ない はいまい かんが 発を 全 変 全 光にる 理 誤い ない はい	め方を理解 法則につい できる。 と基本法則 る。 束を計算で よる直射照 、構造、特 る。 分を理解で	できる。 いて、それぞ の物理的意 きる。 陰を求める	ごれの示す!
授業の原 □ アクラ 授業計画	属性・履作 ティブラー <u>:</u> 画	多上の区分ニング週1週2週3週4週5週6週7週8週	計 □ ICT 利用 授業内容 ガイダンス (講義 方について) 1.放射と光 2.明るさの単位と 同 上 3.配光と光束計算 4.大きさのある光 5.各種光源とその 小テストと解説	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度	□ 遠隔授業対応	適ごとの到記 講義、概要と記 黒体放射でである。 黒体放射でである。 一般である。 一般である。 一般では、 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。	達 講 関解すが かるが発 を。・ 目 の る説礎き 全派さ児 解答 温い 温い こまで ら 光で お 明 経 温 を まいま す 部 主	め方を理解 法則にる。 と基本 表。 東を計算で 表。 、 構造、特 る。 分を理解で 導	できる。 って、それで 一の物理的意 できる。 性について できる。	ごれの示す!
授業の原 □ アクラ 授業計画	属性・履作 ティブラー <u>:</u> 画	多上の区分ニング週1週2週3週4週5週6週7週8週9週	計 □ ICT 利用 授業内容 ガイダンス (講義 方について) 1.放射と光 2.明るさの単位と 同 上 3.配光と光束計算 4.大きさのある光 5.各種光源とその 小テストと解説 中間試験	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度	□ 遠隔授業対応	過ごとの到 講義 放射で 果体放射を理 明る度 と記 明の照 上 形源さき計 に ののの計 を を を を を を を を を に に の の の の の の の の の	達 講 関解すが かるが発 を。・ 目 の る説礎き 全派さ児 解答 温い 温い こまで ら 光で お 明 経 温 を まいま す 部 主	め方を理解 法則にる。 と基本 表。 東を計算で 表。 、 構造、特 る。 分を理解で 導	できる。 って、それで 一の物理的意 できる。 性について できる。	ごれの示す!
授業の原 □ アクラ 授業計画	属性・履作 ディブラーニ 画 3rdQ	多上の区分ニング週1週2週3週4週5週6週7週8週9週10週	計 □ ICT 利用 授業内容 ガイダンス (講義方について)	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度	□ 遠隔授業対応	過ごとの到 講義 解射で 明る度は 明る度は 明る度上 光大で照上 光大で照光が 大で照光が 大で照光が 子で照光が 子でいます。 子のでは 子のでは 子のでは 子のでは 子のでは 子のでは 子のでは 子のでは	達 講 関解すが かるが発 を。・味 書 教 すし基で ら 光で光 理誤温を理 の る説礎き 全源さ原 解答 度理 と の まま 光にる 理 す 部 上解	め方を理解 法できる。 法則である。 大きる本 大きる。 東を直動射野 大きる。 大きな。 大きな。 大きな。 大きな。 大きな。 大きな。 大きな。 大きな	できる。 いて、それぞ の物理的意 きる。 性について きる。 について、	だれの示す!
授業の原 アクラ	属性・履作 ティブラー <u>:</u> 画	多上の区分ニング週1週2週3週4週5週6週7週8週9週10週11週	計 □ ICT 利用 授業内容 ガイダンス (講義方について) 1.放射と光 2.明るさの単位と 同 上 3.配光と光束計算 4.大きさのある光 5.各種光源とその 小テストと解説 中間試験 6.電熱の基礎 同 上 7.電熱の装置	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度	□ 遠隔授業対応	過ごとの到) 講義 放味を表言の 明る度 上 光大て照 生 光大で照 上 光大で照 上 光大で照 上 光大で照 発の さ度 光 にいる さ度 にいる きょう にいる にいる きょう にいる	達 講 関解すが かるが発 を。・味 書 教 すし基で ら 光で光 理誤温を理 の る説礎き 全源さ原 解答 度理 と の まま 光にる 理 す 部 上解	め方を理解 法できる。 法則である。 大きる本 大きる。 東を直動射野 大きる。 大きな。 大きな。 大きな。 大きな。 大きな。 大きな。 大きな。 大きな	できる。 いて、それぞ の物理的意 きる。 性について きる。 について、	だれの示す式
授業の原 □ アクラ 授業計画	属性・履作 ディブラーニ 画 3rdQ	多上の区分ニング週1週2週3週4週5週6週7週8週9週10週11週12週	□ ICT 利用 授業内容 ガイダンス (講義 方について) 1.放射と光 2.明るさの単位と 同 上 3.配光と光束計算 4.大きさのある光 5.各種光源とその 小テストと解説 中間試験 6.電熱の基礎 同 上 7.電熱の装置 同 上 7.電熱の装置 同 上	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度	□ 遠隔授業対応	週ごとの到 講義 概要と 黒体放味を表 明る照上 別での の の の の の の の の の の の の の の の の の の	達 講 関解すが かるが発 を。・味の目 の るが発き 全派でお 理誤温を原 といるで とり といる 理 は 温を 原理 する 上解 といる といる は まり は ま	め方を理解している。 対してとる。 東よ。、 構るのでは、 素のでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	できる。 いて、それぞ の物理的意 きる。 性について きる。 について、	だれの示す!
授業の原 □ アクラ 授業計画	属性・履作 ディブラーニ 画 3rdQ	多上の区分ニング週1週2週3週4週5週6週7週8週9週10週11週12週13週14週	□ ICT 利用	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度	□ 遠隔授業対応	週ごとの到前 講義 概 放味 さま 明、同 る際 日 光源 き度 上 光のの計算 一 光源 き度 子 ののの ・ 大て種 ・ 大て種 ・ 解後の式 ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な	達 講 関解すが かるが発 を。・味 の を 書 報 すし基で ら光で光 理誤温を 原 理 の る説礎き 全源さ原 解答度理 理 解 の を まいこる 理 す 部上解 、 すい の で まい の で まい の で まい こう はい の で まい こう はい かい こう かい こうかい こう	め方を理解している。 大き基本 大きを表する。 大きをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをま	できる。 いて、それそ の物理的意 きる。 はたついて、 はたついて、	だれの示す!
授業の原 □ アクラ 授業計画	属性・履作 ディブラーニ 画 3rdQ	 ドーの区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 	□ ICT 利用 授業内容 ガイダンス (講義 方について) 1.放射と光 2.明るさの単位と 同 上 3.配光と光束計算 4.大きさのある光 5.各種光源とその 小テストと解説 中間試験 6.電熱の基礎 同 上 7.電熱の装置 同 上 7.電熱の装置 同 上	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度	□ 遠隔授業対応	週ごとの到 講義 概要と 黒体放味を表 明る照上 別での の の の の の の の の の の の の の の の の の の	達 講 関解すが かるが発 を。・味 の を 書 報 すし基で ら光で光 理誤温を 原 理 の る説礎き 全源さ原 解答度理 理 解 の を まいこる 理 す 部上解 、 すい の で まい の で まい の で まい こう はい の で まい こう はい かい こう かい こうかい こう	め方を理解している。 大き基本 大きを表する。 大きをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをま	できる。 いて、それそ の物理的意 きる。 はたついて、 はたついて、	ごれの示す!
授業の原 アクラ 授業計画	属性・履作 ディブラーニ 画 3rdQ 4thQ	 ドルの区分 コング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 	□ ICT 利用	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度 特性	□ 遠隔授業対応	週ごとの到前 講義 概 放味 さま 明、同 る際 日 光源 き度 上 光のの計算 一 光源 き度 子 ののの ・ 大て種 ・ 大て種 ・ 解後の式 ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な	達 講 関解すが かるが発 を。・味 の を 書 報 すし基で ら光で光 理誤温を 原 理 の る説礎き 全源さ原 解答度理 理 解 の を まいこる 理 す 部上解 、 すい の で まい の で まい の で まい こう はい の で まい こう はい かい こう かい こうかい こう	め方を理解している。 大き基本 大きを表する。 大きをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをま	できる。 いて、それそ の物理的意 きる。 はたついて、 はたついて、	ごれの示す!
授業の原 ファクラ 授業計画 後期	属性・履作 ディブラーニ 画 3rdQ 4thQ	 下の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの 	□ ICT 利用	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度 特性	□遠隔授業対が	週ごとの到前 講義 概 放味 さま 明、同 る際 日 光源 き度 上 光のの計算 一 光源 き度 子 ののの ・ 大て種 ・ 大て種 ・ 解後の式 ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な	達 講 関解すが かるが発 を。・味 の を 書 報 すし基で ら光で光 理誤温を 原 理 の る説礎き 全源さ原 解答度理 理 解 の を まいこる 理 す 部上解 、 すい の で まい の で まい の で まい こう はい の で まい こう はい かい こう かい こうかい こう	め方を理解の 対対でとる。 東よ。、 あった。 東よ。、 あった。 東よ。、 あった。 東よ。、 あった。 東は、 解ではきる。 では、 解ではきる。 では、 のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	できる。 いて、それぞ の物理的意 きる。 はたついて、 をもる。 はたついて、 なについて、	だれの示す式 意味を理解し る法則によっ 説明できる。
授業の原 フクラ 授業計画 後期	属性・履作 ディブラーニ 画 3rdQ 4thQ	 ドルの区分 コング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 	□ ICT 利用	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度 特性 章目標 学習内容の到達目	□遠隔授業対が	週ごとの到前 講義 概 放味 さま 明、同 る際 日 光源 き度 上 光のの計算 一 光源 き度 子 ののの ・ 大て種 ・ 大て種 ・ 解後の式 ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な ・ 大な	達 講 関解すが かるが発 を。・味 の を 書 報 すし基で ら光で光 理誤温を 原 理 の る説礎き 全源さ原 解答度理 理 解 の を まいこる 理 す 部上解 、 すい の で まい の で まい の で まい こう はい の で まい こう はい かい こう かい こうかい こう	め方を理解している。 大きをある 大きをある 大きをある 大きの 大きをある 大きの	できる。 いて、それぞ の物理的意 できる。 はを求める できる。 について、 できる。	だれの示す式 意味を理解し る法則によっ 一説明できる。
授業の原 アクラ 授業計画 そ だ が カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ	属性・履作 ディブラーコ 画 3rdQ 4thQ	多上の区分 ことが 週 1週 2週 3週 4週 5週 8週 9週 10週 13週 14週 15週 15週 15週 40回 7月 7月	□ ICT 利用	概要、シラバスの試 基本法則 源による直射照度 特性 学習内容の到達目 電荷と電流、電圧	□ 遠隔授業対が は明、講義の進め	透 選 では できます できます できます できます できます できます できます できます	達 講 関解すが かるが発 を。・床 の を。 標 の る説礎さ ら光で光 理誤温を 原 理誤 の る説礎さ 全源 度理 理解答 度理 理解答 大にる理 す部上解 、 す 部	め方を理解している。 東よ。 、 東をまる 、 本をまる 、 本をまる 、 本をもの 、 は、 本ののでは、 は、 ないのでは、 は、 ないのでは、 は、 ないのでは、 は、 ないのでは、 は、 は	できる。 いて、それぞ の物理的意 できる。 なを求める について、 なについて、	だれの示す式 意味を理解し る法則によっ 一説明できる。
授業の原 アクラ 授業計画 後期	属性・履作 ディブラーニ 画 3rdQ 4thQ	多上の区分 ことが 週 1週 2週 3週 4週 5週 8週 9週 10週 13週 14週 15週 15週 15週 40回 7月 7月	□ ICT 利用	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度 特性 学習内容の到達目 電荷と電流、電圧 キルヒホッフの法	□ 遠隔授業対が 説明、講義の進め 標 を説明できる。 則を用いて、直流	週ごとの到前 講義 概 放味 さま に の の の の の の の の の の の の の の の の の の	達 講 関解すが かるが発 を。・床 の を。 標 の る説礎さ ら光で光 理誤温を 原 理誤 の る説礎さ 全源 度理 理解答 度理 理解答 大にる理 す部上解 、 す 部	め方を理解している。 東よ。 、 東よ。 、 東を計画 造、 理熱明 にきる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	できる。 いて、それぞ の物理的意 きる。 はたついて きる。 はたついて。	だれの示す式 意味を理解し る法則によっ 一説明できる。
授 デクラ 授 業計 デ 大 関 門 の に が に が の に の に が に の に 。 に に 。 に 。 に に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。 に 。 。 。	属性・履作 ディブラーニ 画 3rdQ 4thQ	多上の区分 ことが 週 1週 2週 3週 4週 5週 8週 9週 10週 13週 14週 15週 15週 15週 40回 7月 7月	□ ICT 利用	概要、シラバスの試 基本法則 源による直射照度 特性 学習内容の到達目 電荷と電流、電圧	□ 遠隔授業対が 説明、講義の進め 標 を説明できる。 則を用いて、直流	週ごとの到前 講義 概 放味 さま に の の の の の の の の の の の の の の の の の の	達 講 関解すが かるが発 を。・床 の を。 標 の る説礎さ ら光で光 理誤温を 原 理誤 の る説礎さ 全源 度理 理解答 度理 理解答 大にる理 す部上解 、 す 部	め方を理解している。 東 を る の までとる。 東 を る の は ままままままままままままままままままままままままままままままままま	できる。 いて、それぞ の物理的意 きる。 はたついて きる。 はたついて。	だれの示す式 意味を理解し る法則によっ 一説明できる。
受業の原	属性・履作 ディブラーニ 画 3rdQ 4thQ	多上の区分 ことが 週 1週 2週 3週 4週 5週 8週 9週 10週 13週 14週 15週 15週 15週 40回 7月 7月	□ ICT 利用	概要、シラバスの説 基本法則 源による直射照度 特性 学習内容の到達目 電荷と電流、電圧 キルヒホッフの法	□ 遠隔授業対が 説明、講義の進め 標 を説明できる。 則を用いて、直流	週ごとの到前 講義 概 放味 さま に の の の の の の の の の の の の の の の の の の	達 講 関解すが かるが発 を。・床 の を。 標 の る説礎さ ら光で光 理誤温を 原 理誤 の る説礎さ 全源 度理 理解答 度理 理解答 大にる理 す部上解 、 す 部	め方を理解している。 東よ。 、 東よ。 、 東を計画 造、 理熱明 にきる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	できる。 いて、それぞ の物理的意 きる。 はたついて きる。 はたついて。	だれの示す式 意味を理解し る法則によっ 説明できる。

総合評価割合	70	20	10	100
基礎的能力	40	10	10	60
専門的能力	30	10	0	40